



Legend

Legend* vol.23

はなさない…ッ

絶対に…

110
7

110
7

ふわっ

那…美…?

渡^{わた}さないから…!!!



永遠のロマンチックが

思い

ビツク

ナイノニ

カク

何ぞか

馬しにサヤ

持っているからこ...

あの姉弟

王家の血族ぞ

親に

見捨てられたか

国を滅ぼし

かねないって...

恐しいわね

ヒソ...

私たちは

親にすてられ

しかし王家の

血族だからと

丁重に

あつかわれた

だけど

それから間もなく

私たちの国は

滅びた

追え…!!

あの姉弟が

王家の末裔ぞ…!!

殺せ…!!

殺せ…!!!

どうして…?!

姉弟が

何をしたというの？

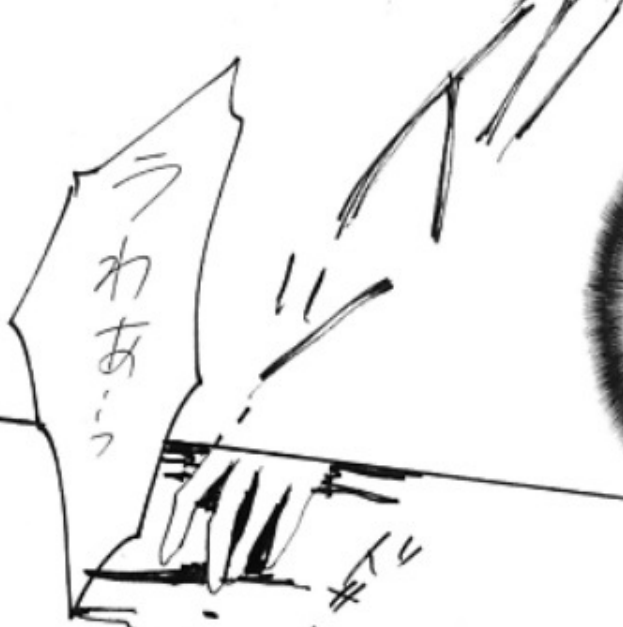
母も父もなくて

住む場所さえも

うばわれて

その
私のたたりとりの

家族も
うばおとこにの
!?



目が
光...ツ

“怖いカを

持っている、て—”

は...
バケモノ!



“国を”

渡さない!!!



“滅ぼしかねない、て”



守りたいが

守りたいが

光を知らない

光を知らない

光を知らない

なつなを
力を借さぬか

田中

わたしの心に
闇が
つけられた

Legend*

けれど



どんなに国を
うばっても

権力を手にして

いっまでも

満たされない

い
ご
ご

わたしは

間違、たというの...

—オレが...



え？

那岐...？





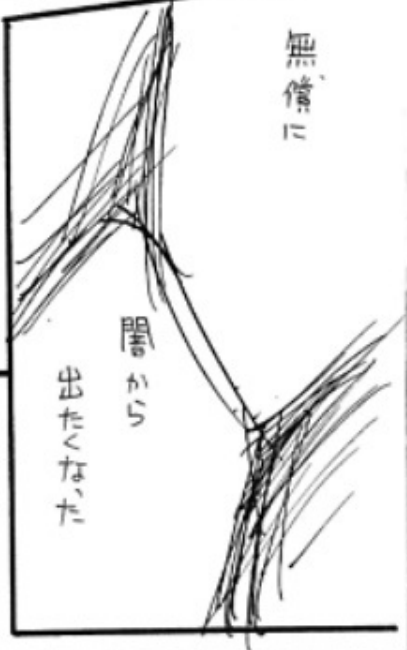
お6回ナシ

オレは

キリッ

那美から
逃げたんだ...

オレは...



無償に

闇から

出たくなた



私は

間違っていたの...

那岐...

私...は



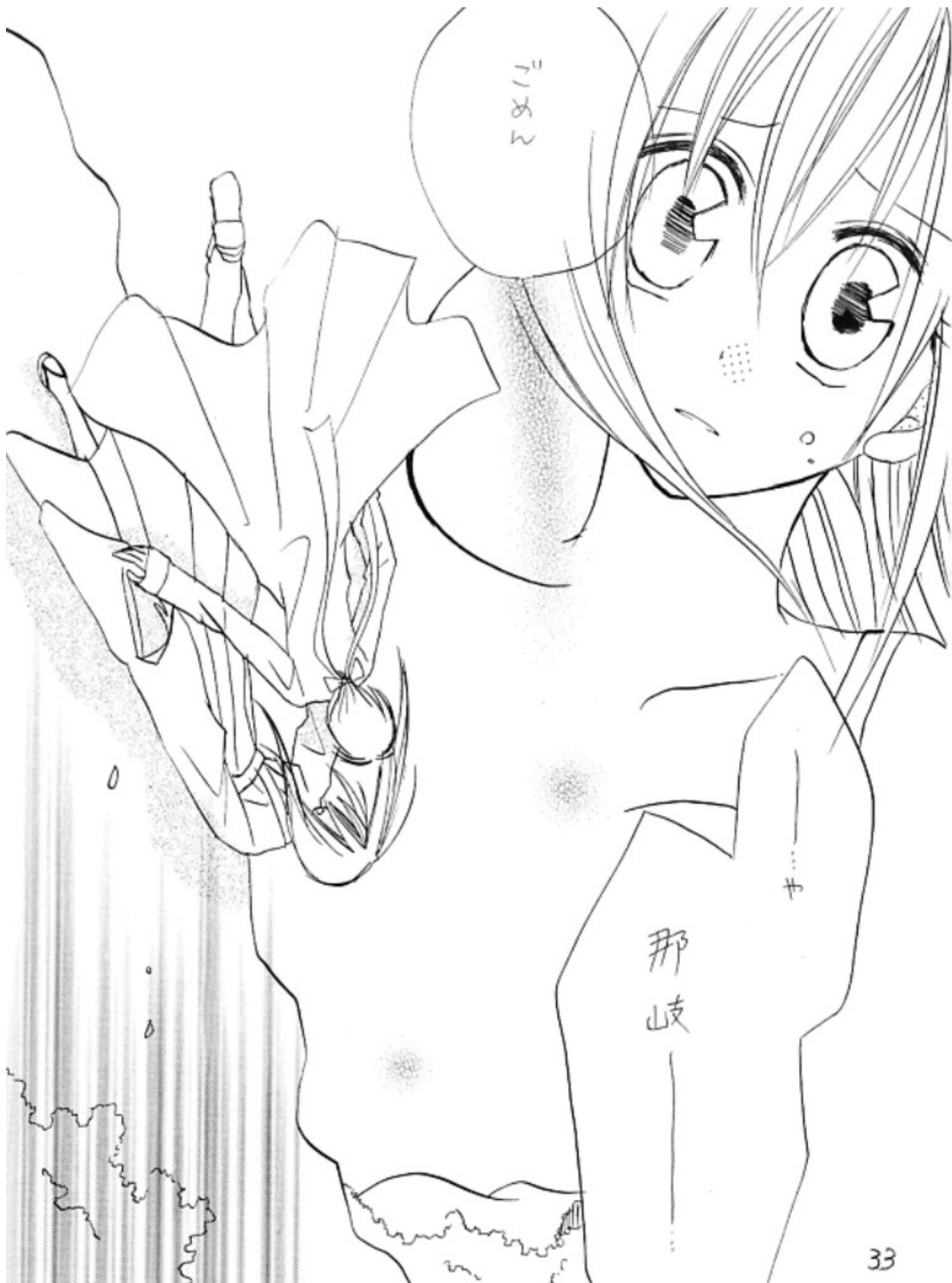
那美...

待...



しん
しん
しん

!?



Legend*

嫌
ア

那
山
支

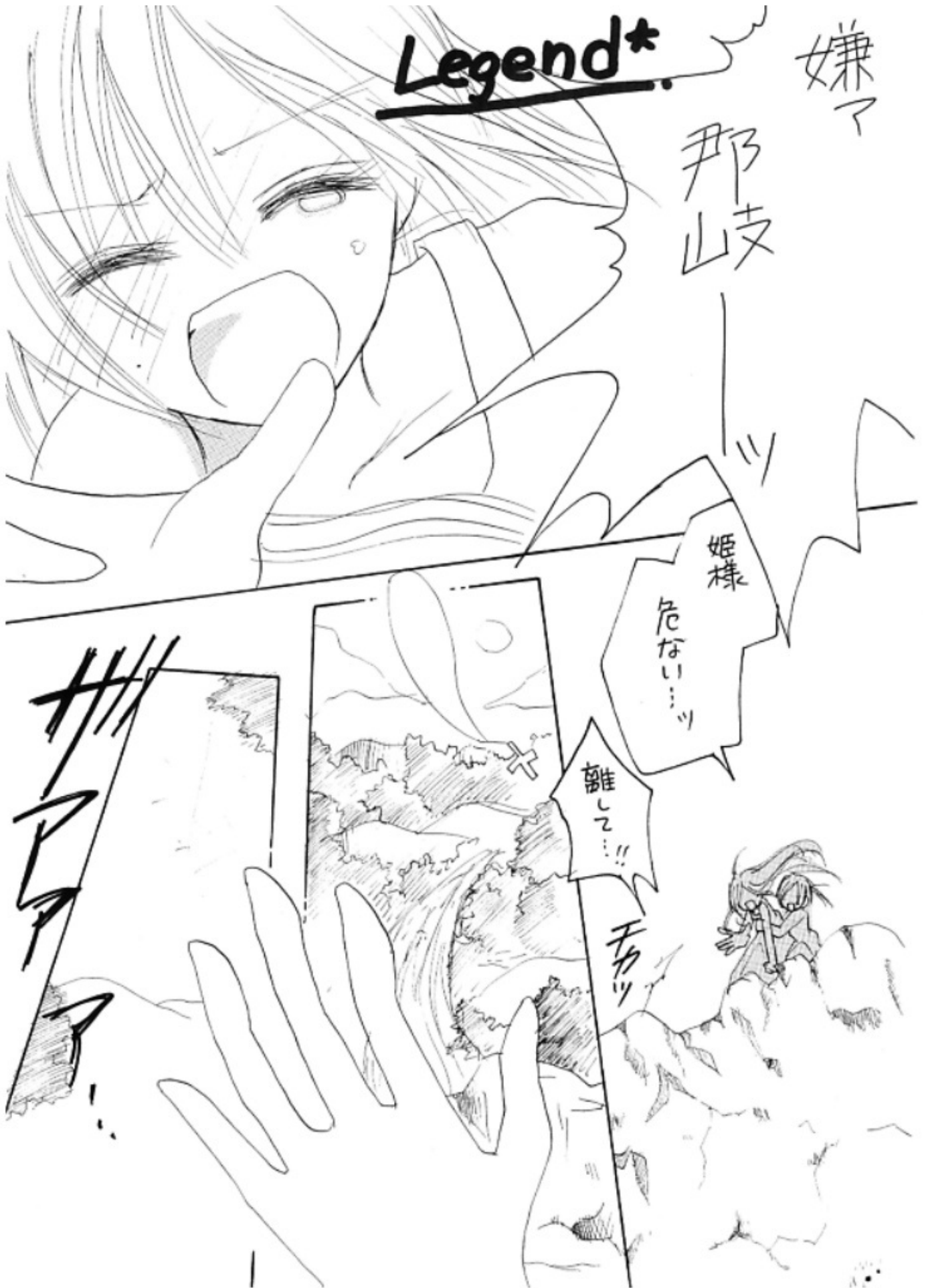
姫
様

危
ない……ッ

離
して……!!

チ
カッ

ア
ア
ア





”
——那美
君を許さない——
ハ



私たちは
どこで間違、たの…

ああ…

——愛してるわ
…那岐——”

那美から

逃げだした

あの日か

異武者として

生きることにした日か

闇に心うばわれ

国甲さうばい命った

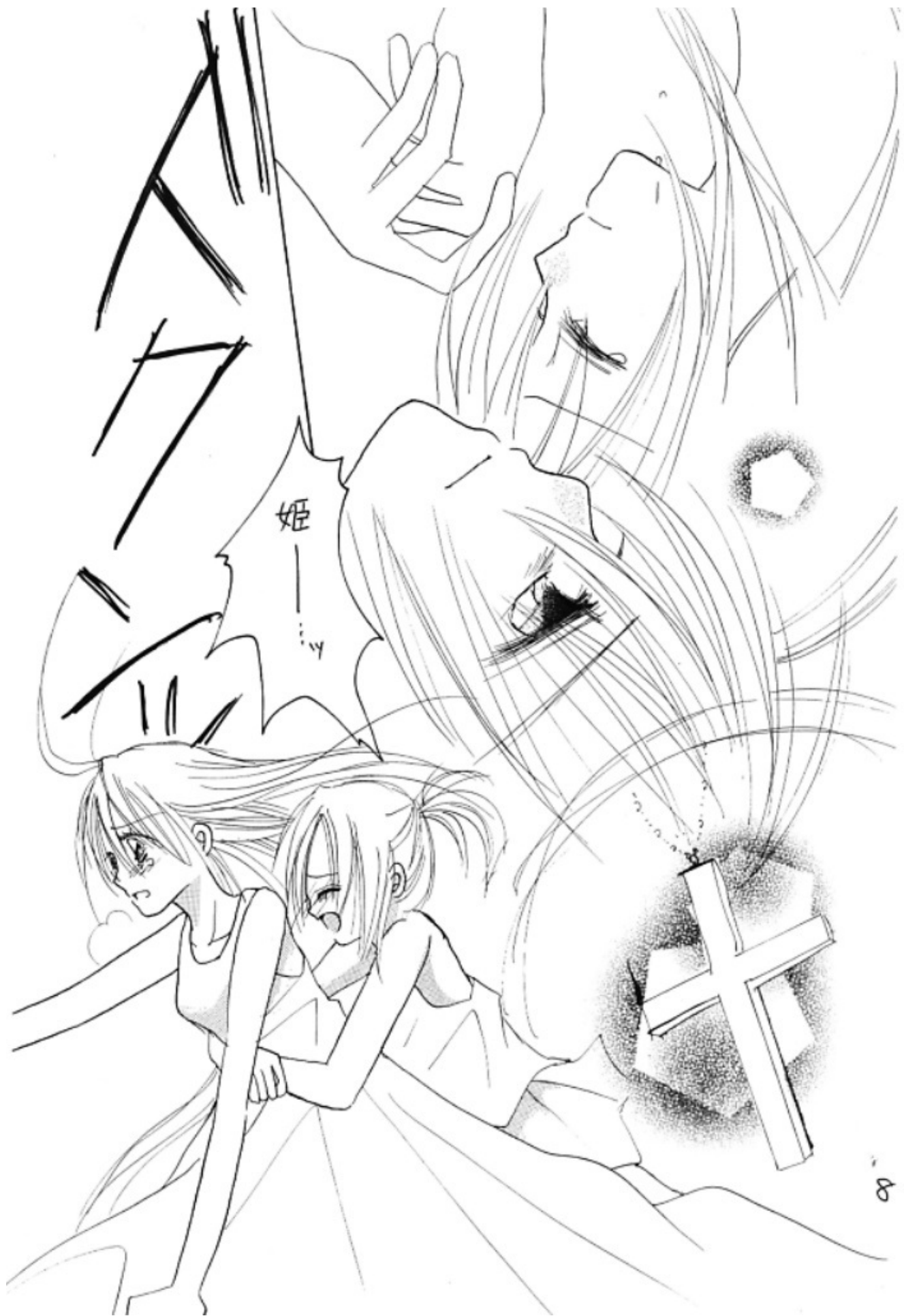
あの日か

双子として

ハルカとニ

生まれてきた日か——…





アア

「もう逃げない」

え……?

「生きなまっ
ダマッ」

そんな子感
か……

……
生き……てる……

姫……

信じてる

私……

国へ

戻ろうと思う

Legend*

国へ

戻ろう

あの

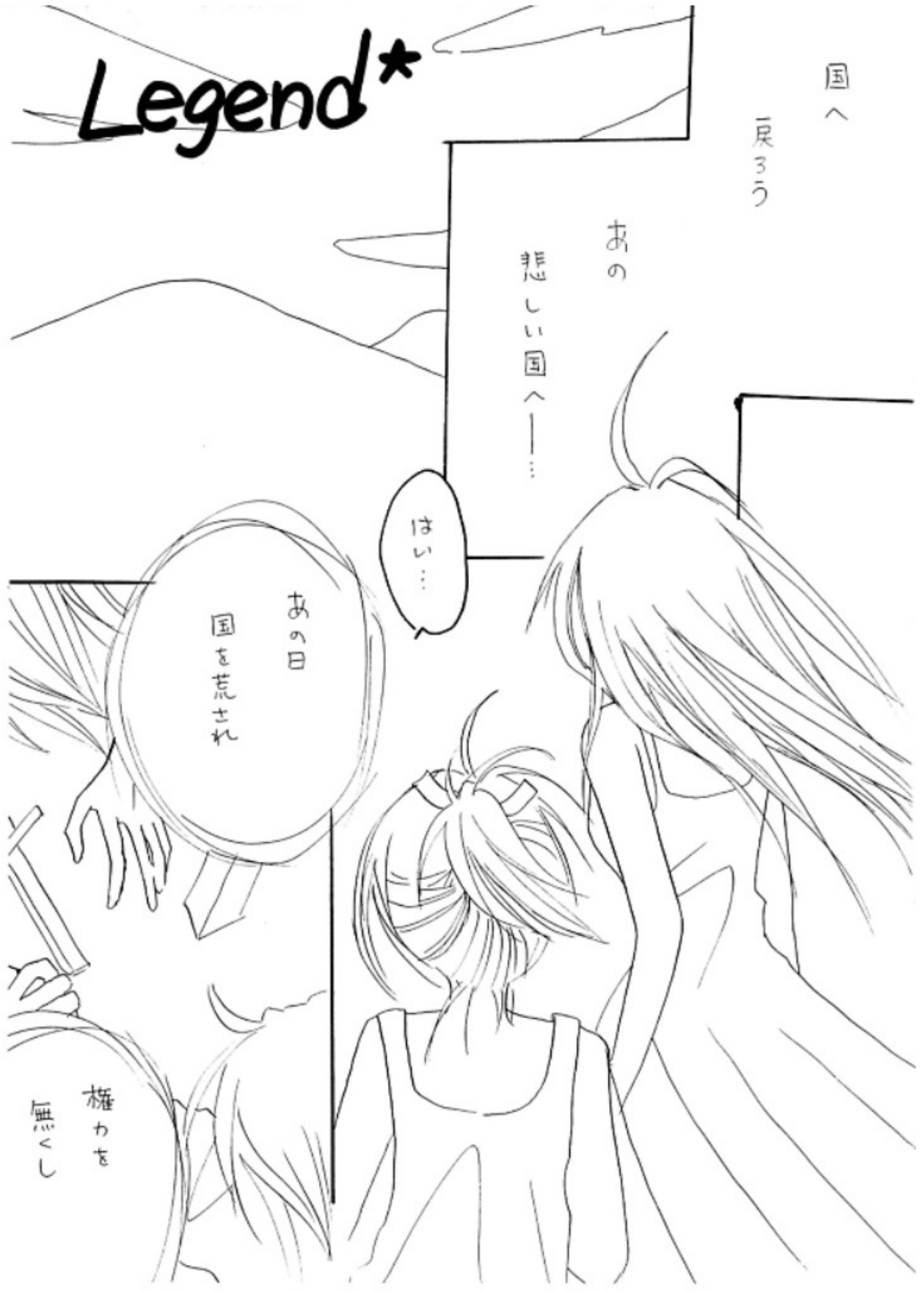
悲しい国へ…

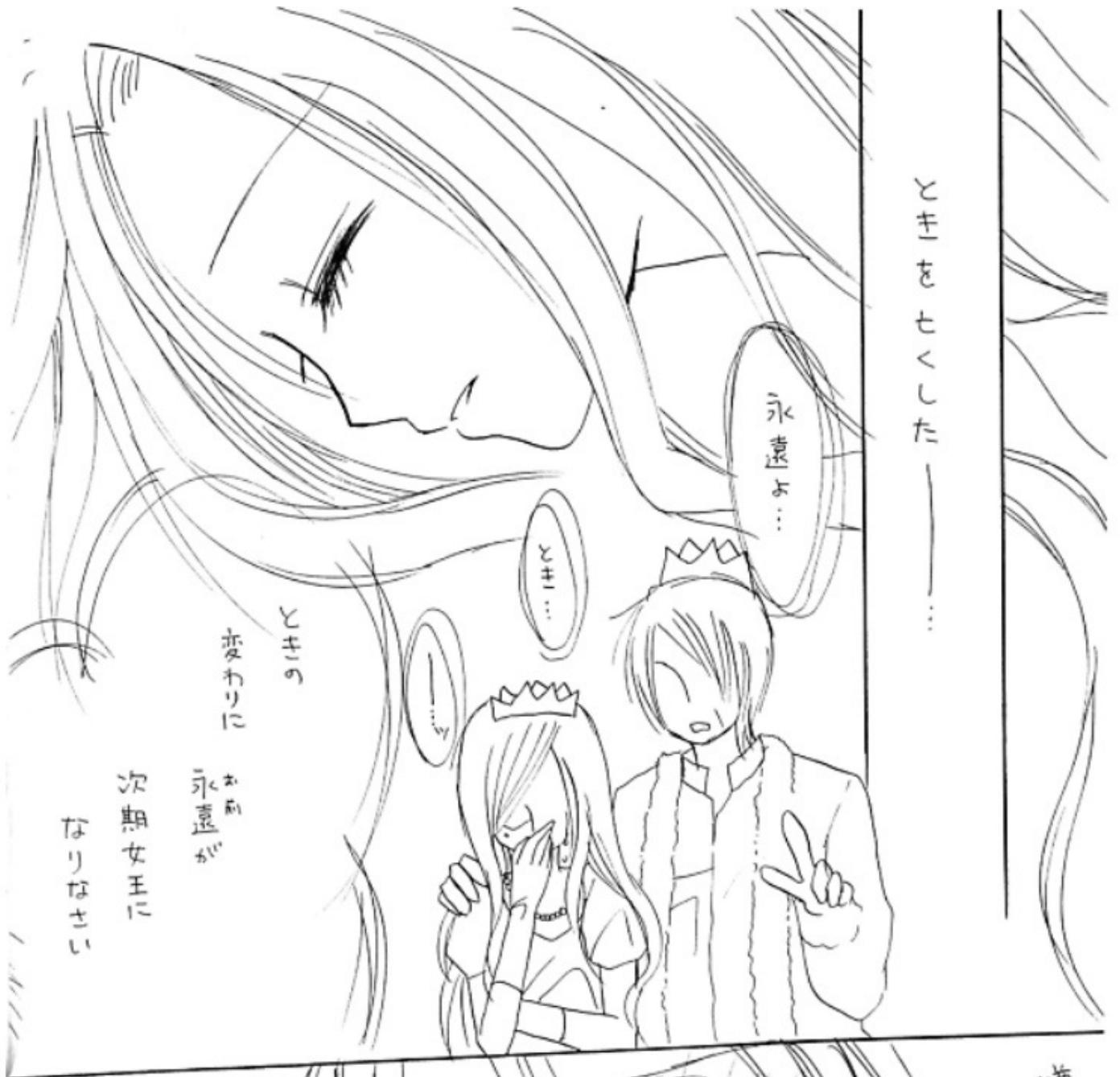
はい…

おの
国を荒され

権力を

こへ運





ときをせくしたー…

永遠が…

とき…

とき

代わりに

お前
永遠が

次期女王に

なりなさい



嫌が…

ときの変わりなんて
いないわ…!!

私は…

ときのわりに

なんてなれない…!!!



そして私は

逃げ出した

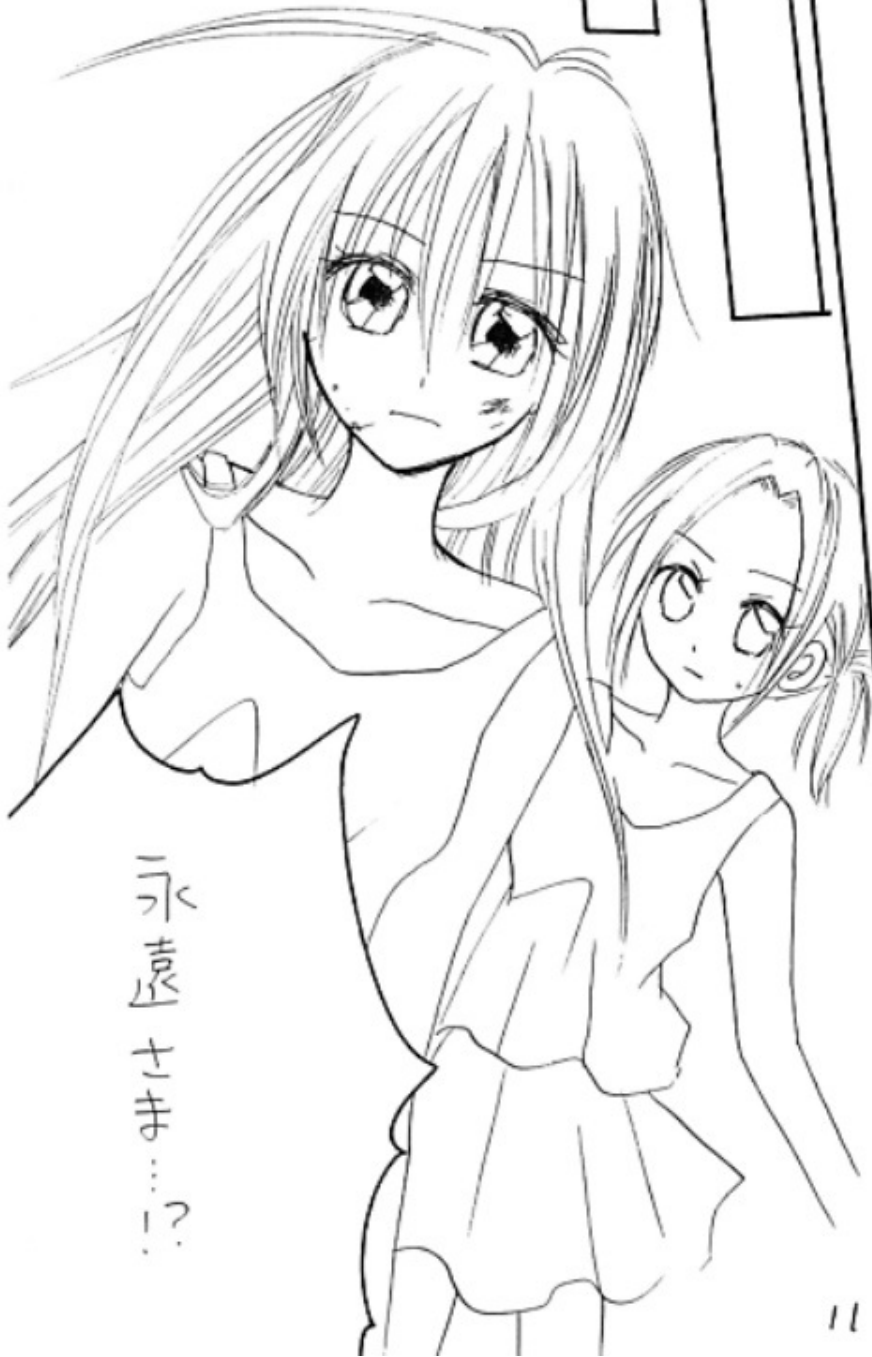
だ
け
と



ときのかたまり

打つことを

理由にして——…



永遠さま…!?

イザナギと
イザナミと



どうも
探してっ!!



永遠さまが
お戻りになられた!

おお..
天音

よくぞ
呼び戻した

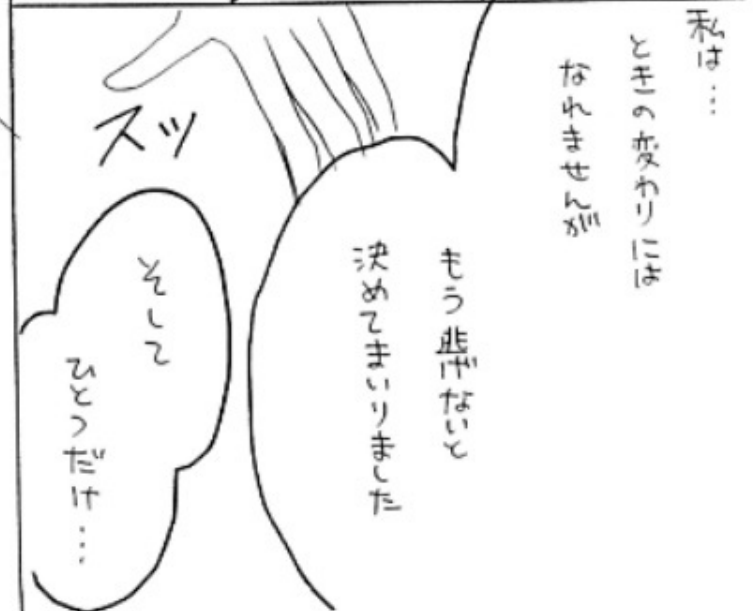
わっ!

おっ!



父様:
母様:

お願いが
あります



私は:
とそおの変わりにま
なれませぬが

もう悲げない
決めてまいりました

そして
とっただけ...



陛下様
おはよう

アキコ様
おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

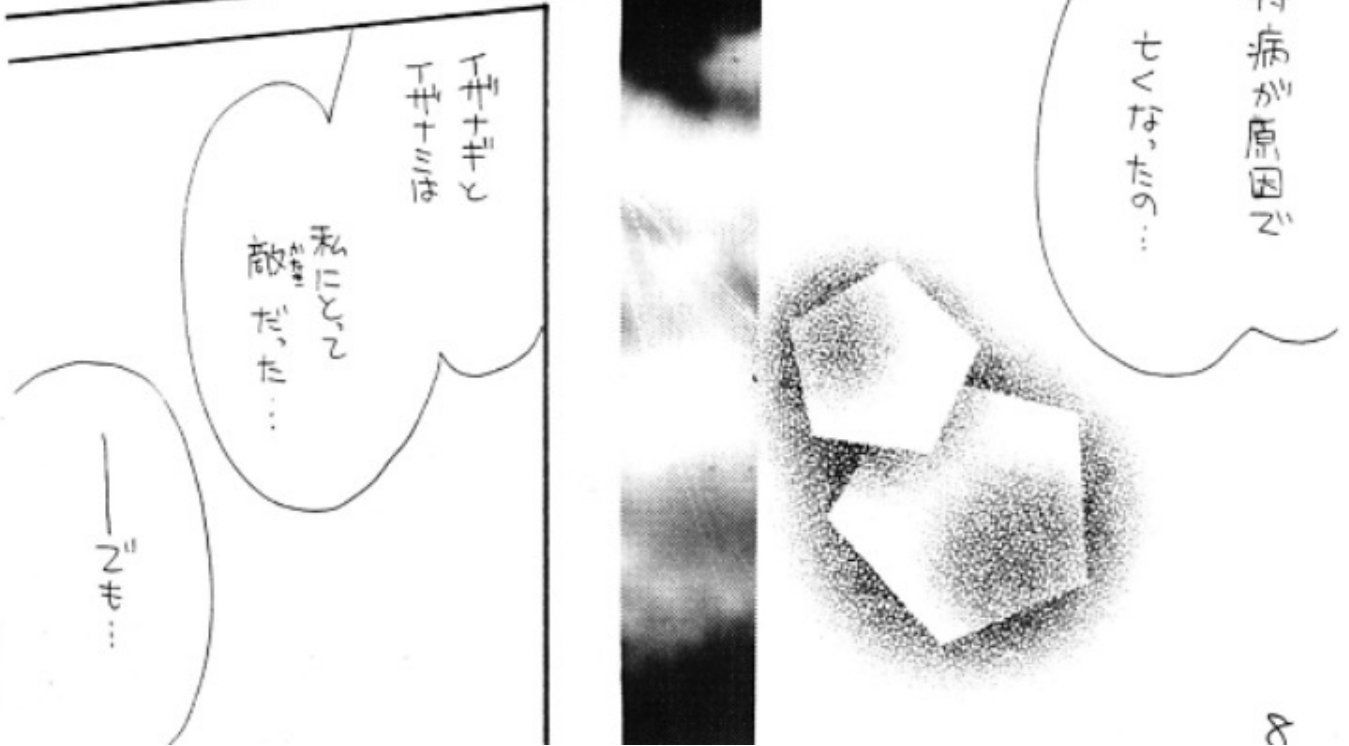
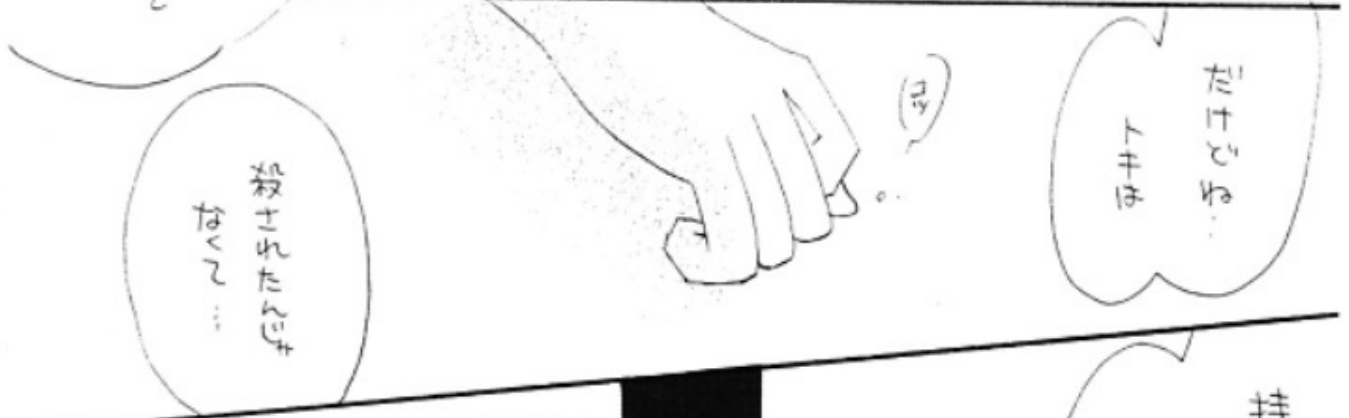
おはよう

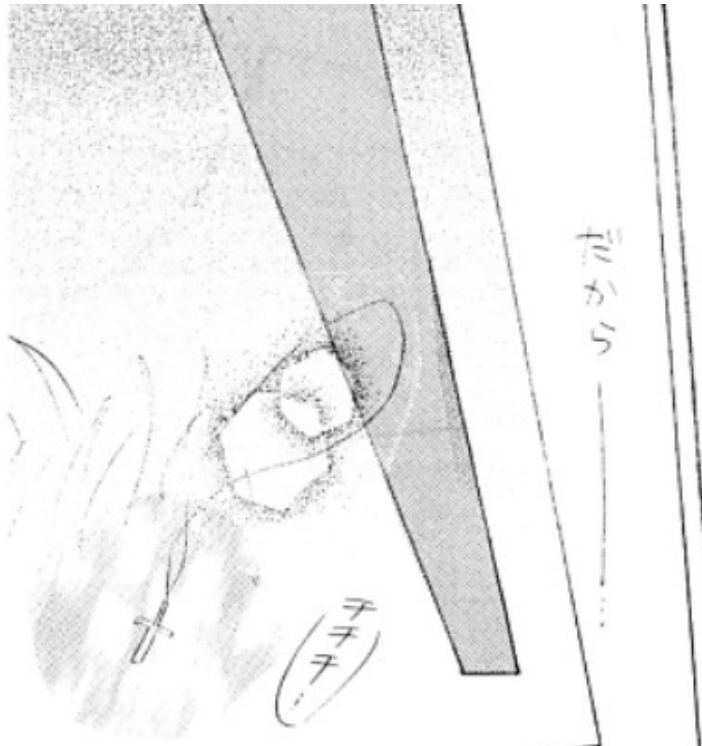
父様……ッ

あやっは
我が国をおそえた
悪魔の子を……!!

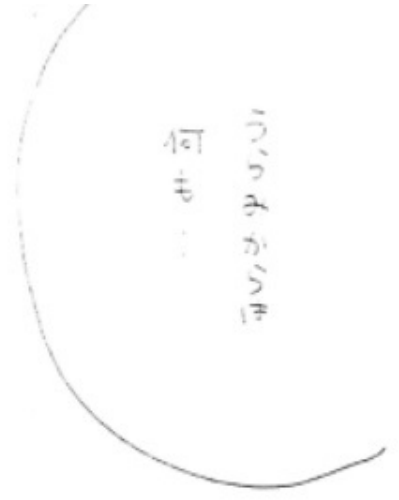
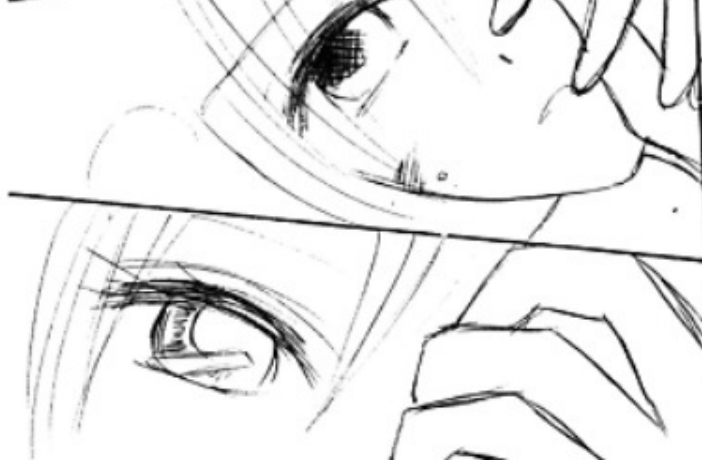
Legend*







かから



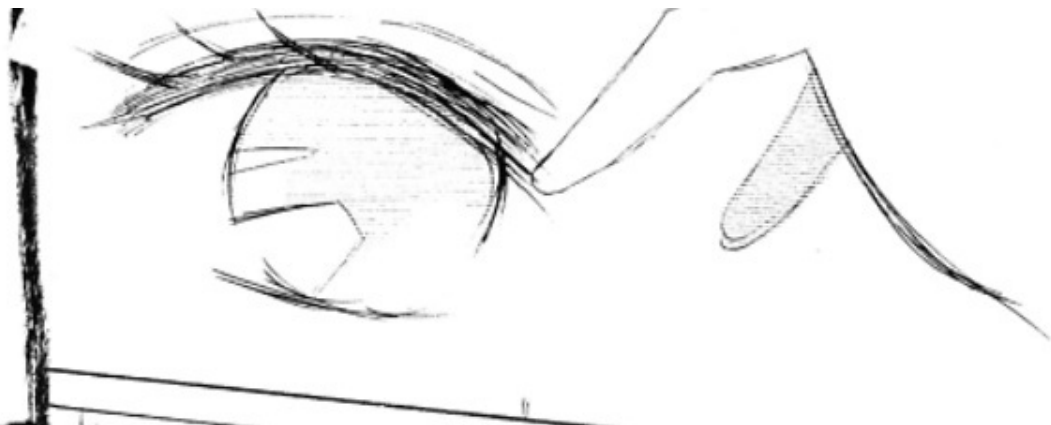
何せ...
何んかやっばい



何も

生まれなから...

殺して



間違ってきた

私も

行かないで——!!



母様?

父様?...

ナミコ...

ナミコ...

あなたの手で



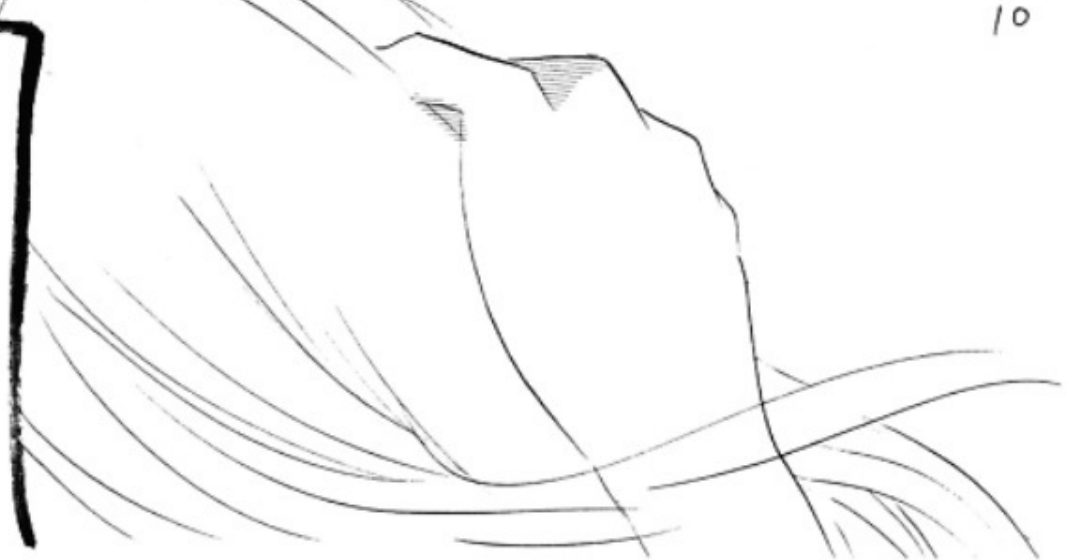
たったひとりの

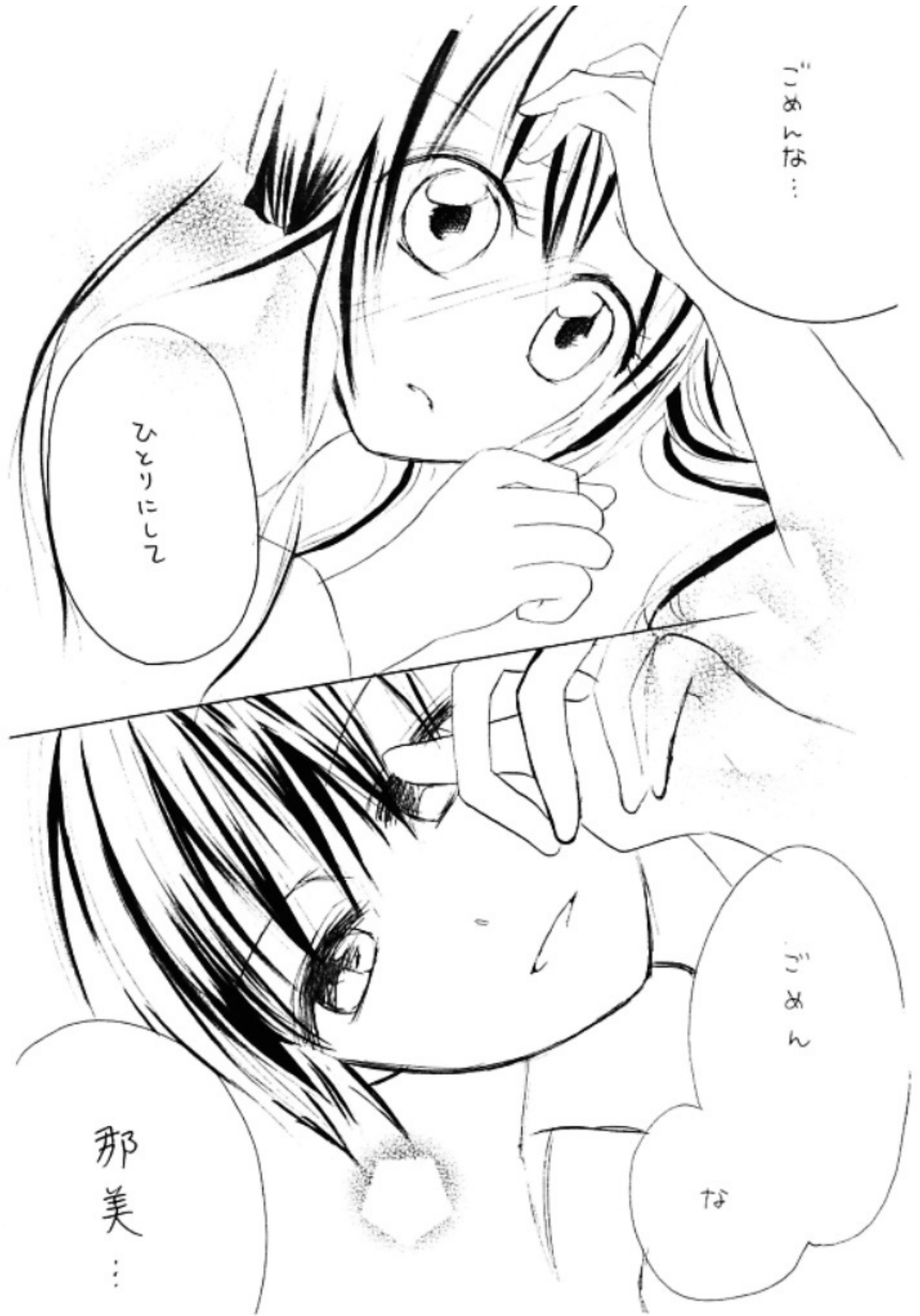
弟を

わたさない

はなさない...

消して





「いさよ...」

「うんうん」

「いさよ」

「は」

那美：
...



母様父様

私を捨てないで

離れないで

ひとりは怖い

淋しい

悲しい

——…

「——ひとりにして
ごめんね…」



りな
那美
——…

自分が自分で

泣いてるうちに

と気付いた時

呪いは
解かれるだろう

もう二度と

闇の手をとることはないだろう——

あ…
ああ

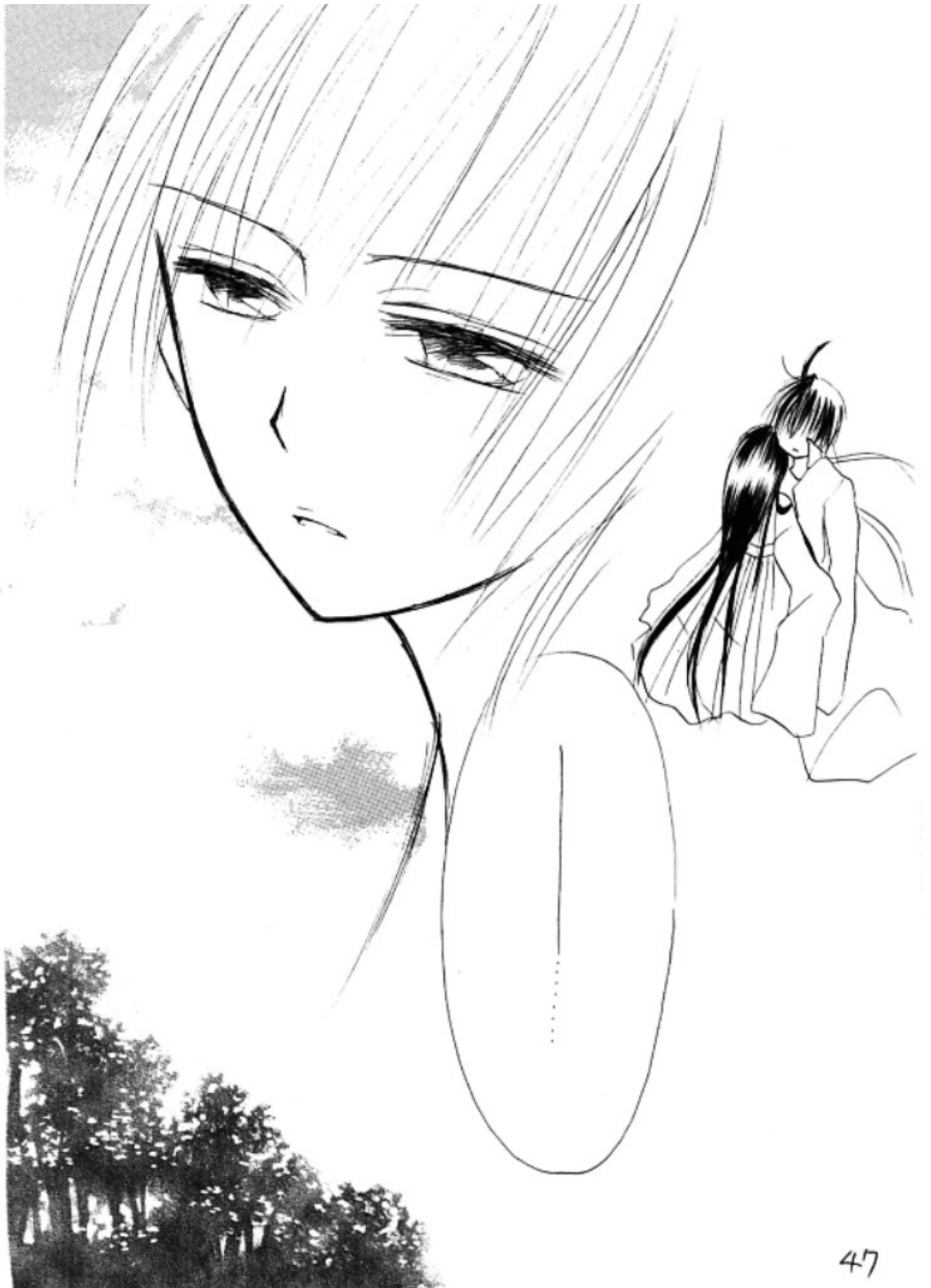
けれど





過去は
永遠に消せない

あああ



この谷の付近に

イザナミと
イザナギがいると
情報を得た!!

わ
あ
あ
あ
あ

敵を討つんだ!!

2人に死を!!!



わあ Legend★



イザナギとイザナミに

死を ————!!!!

はっ

軍隊が
出動...!!



お父さま
サメて...!!

あの2人を
殺すのは...ッ

そんなこと
しては...私たちが

国を壊したあの人たちと
同じ罪を犯すことには
なりません!!

たまれ!!

悪…魔？

自…分の国…も

破…壊…した

悪…魔…の子…だ…!!

そ…う…だ…あ…の…2…人…は
遠…い…昔…

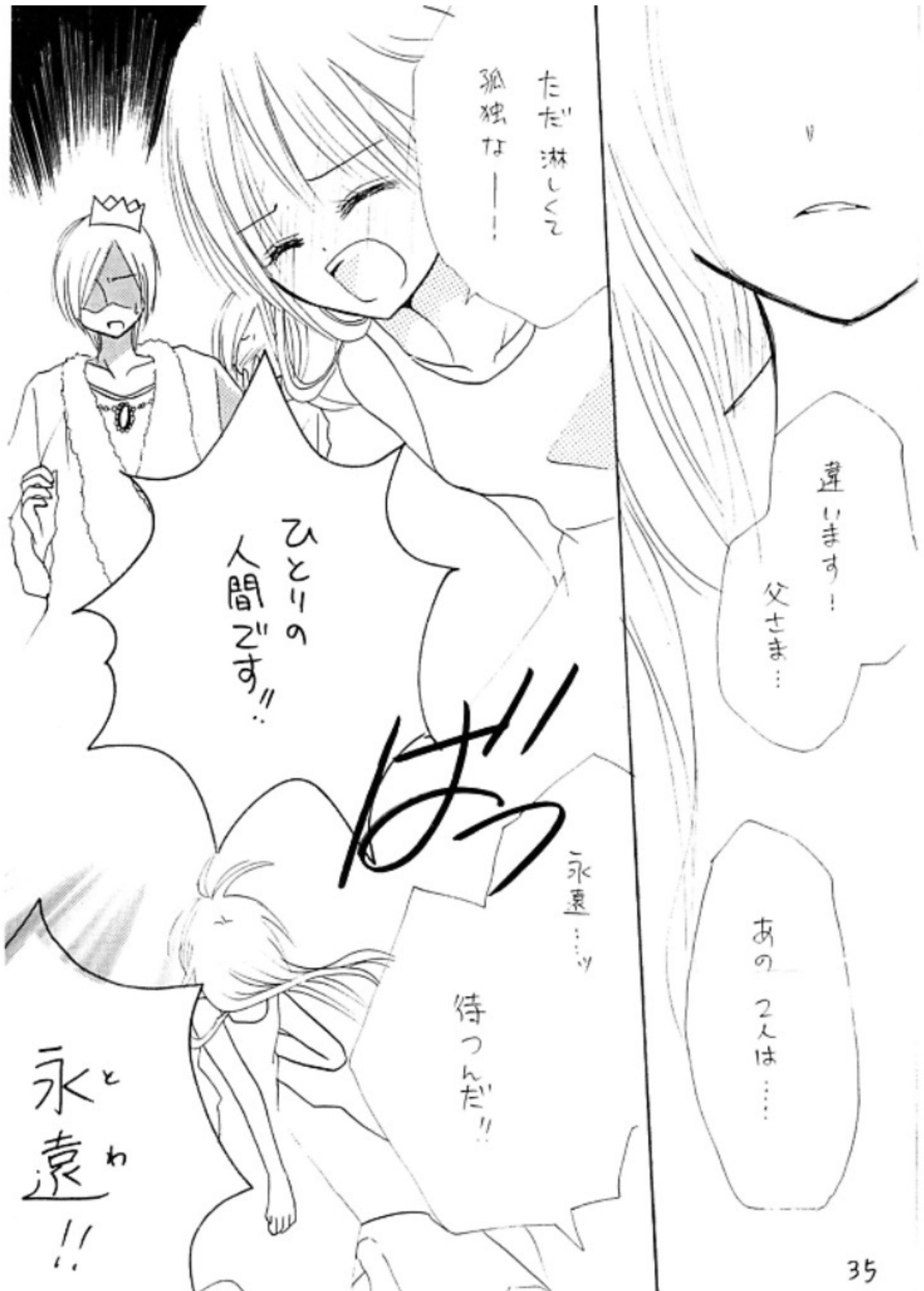
—遠…い…昔…

ち…が…う…な…

あ…の…2…人…は…

まさかお前も
あの悪魔に

心うばわれたか…!!



ただ淋しくて
孤独な――！

ひとりの
人間です！！

あ

違います！
父さま…

あの二人は…

待った！！

永遠…

永遠！！



……何だ……？

——風が
変わった——



——あれ……!!

永遠^{トキトキ}の国の者が…!!

いたぞ!!!

イナナナと
イナナミだ!!

わあ
ああ
あう

殺せ



Legend*

…中…





深き罪

ついでに

相手に
な、こせる

119回
敵!!

わあああ

あああ

いかに
殺せ

もういいから

永遠さ

悲しませたくない



終わり
するんだ

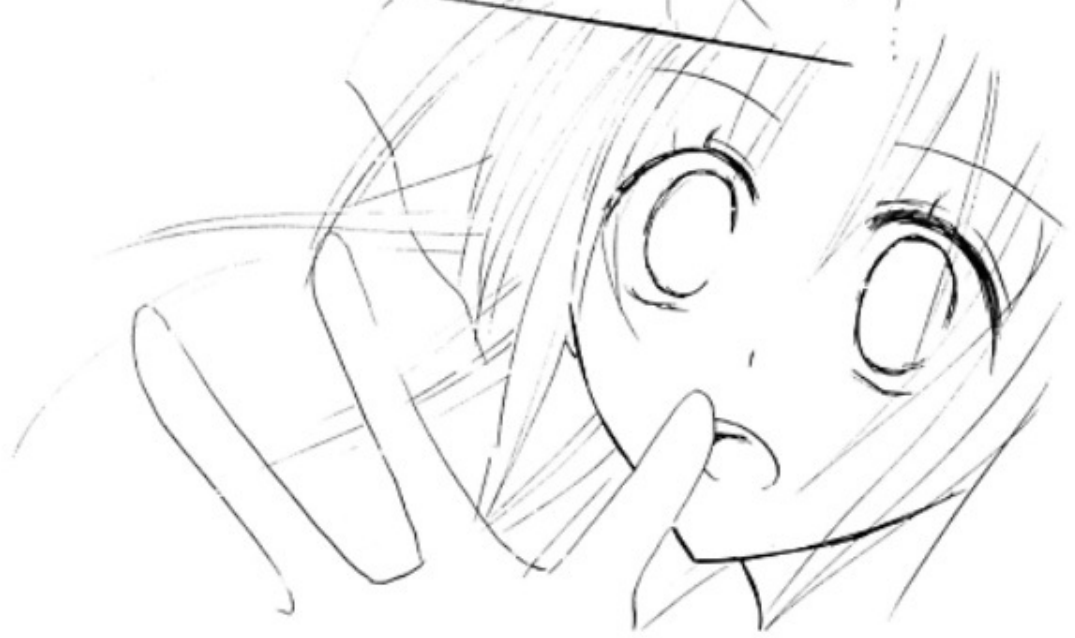
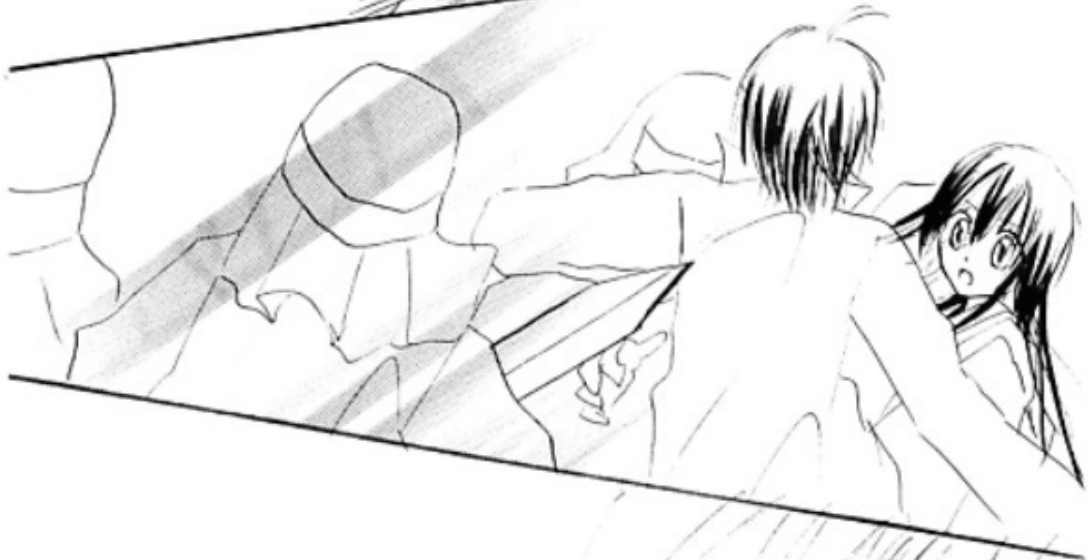
正面から
可憐な顔



—
それか

オレにできる

最後のこと







勝手だよ……

最後は私が

あなたを

守りたかったの……

いつもあなたが
守ってくれた……”

だから

姉さん……

Legend

だけど、それが
君の…精一杯の

答えだ、たのならば

オシの…

オシの

答えは —……



やあ

生き抜こう

イガナキも
殺すんだ!!

果てなる井戸

—— 命





イザナギは
私の恩人です!

手を出すことは
許しませんよ!!



姫!

何故ここに...

わあ
ああ
ああ

イザナギ
覚悟

あ
ああ
ああ

やめなさい!!



無事...?
あなた...!!

永と...?
...?

クク...



ごうごう...
こんな所...に

— 永遠...
...



永遠!!

えんえん

那岐に...
会いたかった
から...





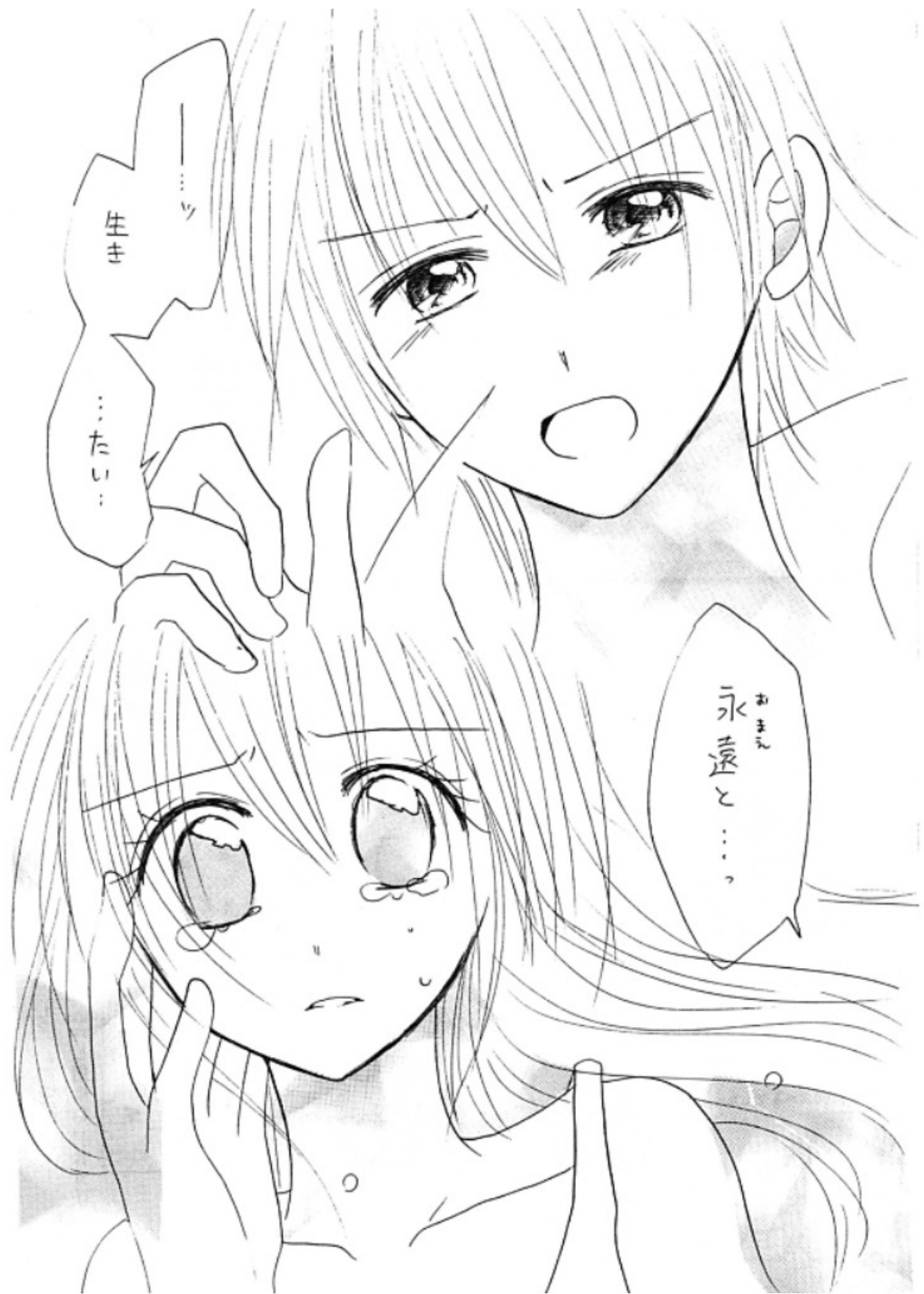
邦美

もしも
オシの出したおまんこ

……
……
……

ふとっだけ

我がままが許されるなら……



……ッ
生き

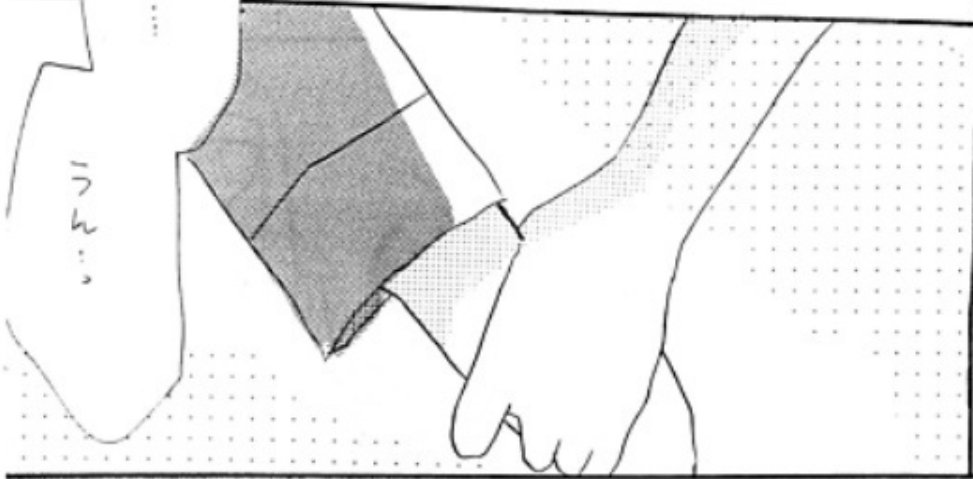
……たい……

おまん
永遠と……

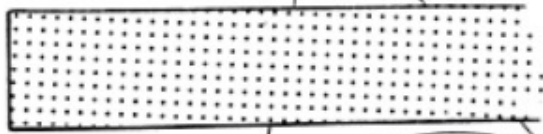


あたしも

うん...



うん...



あたしも...

もう答えを持ってる



Legend ↑



—永遠…



王女には…
だんません

あたい…
は…

…父さま
母さま…

こやつを生けどりに
することは…ッ

「おれ」
どっくにいってんだ…?



何かしたみたい
って思ってた...

...アホな...
とキミのオチリに...



何...ッ!?



アホ...
って思ってた...



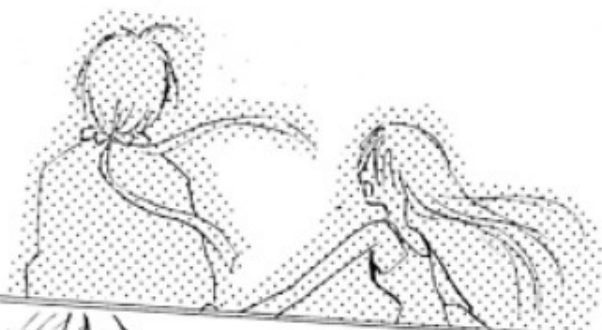
...
アホ



アホな...
って思ってた...

アホな...
って思ってた...

那岐と
出会って



旅をして

私は



——まだ見ぬ——

私が知らないこと
さえ知らない

このまじか

この世界には

ありふれたこと

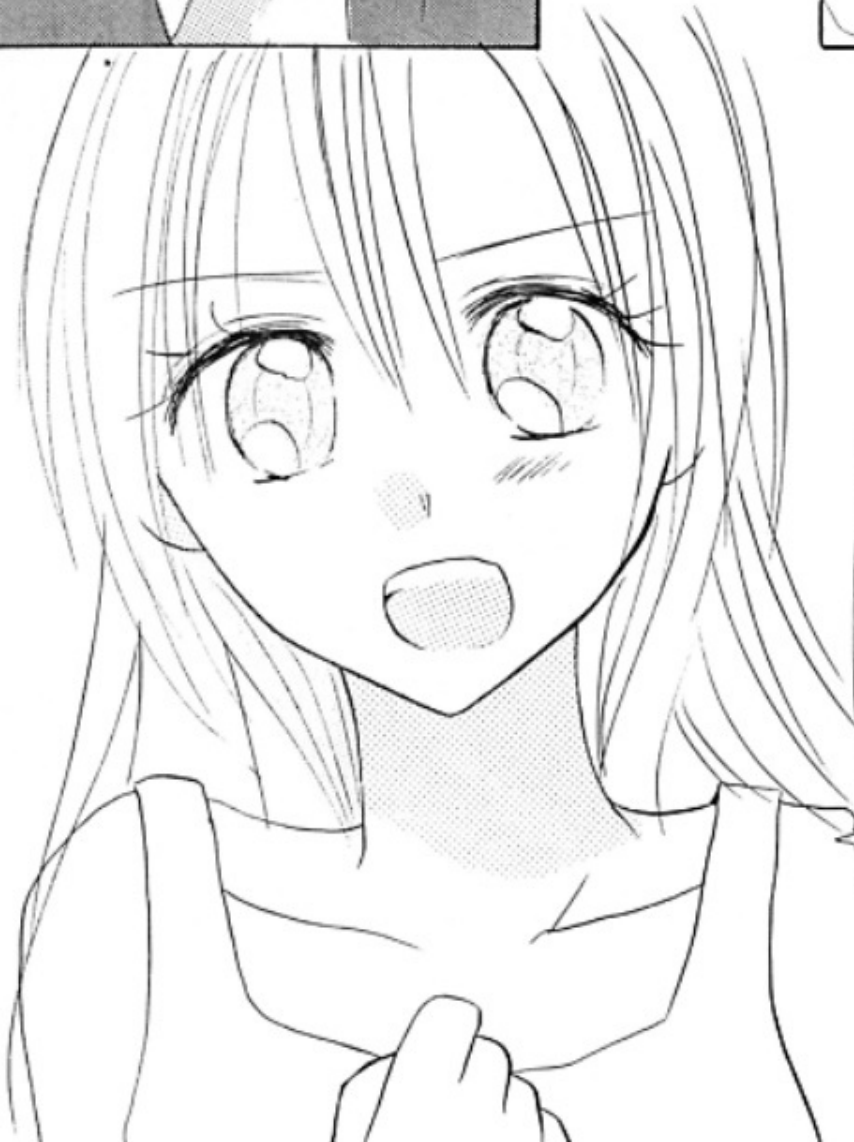
いろいろなこと



あなたと
一緒に…



だめら…



私は那岐と

共に行きます



永遠…
正気か!!!



Legend*

はっなみ小美







お!

父さま
母さま

永遠...!!

行ってきます!

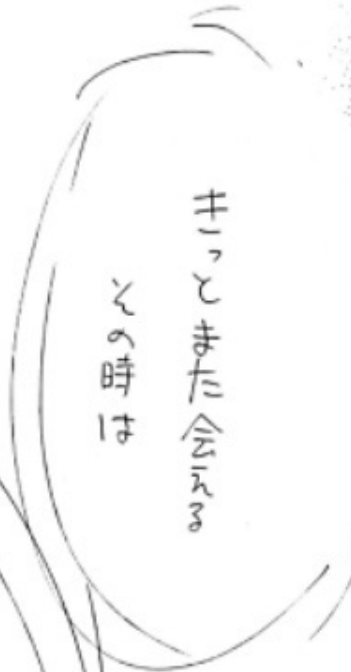
天音...

さっさと帰って...

あ



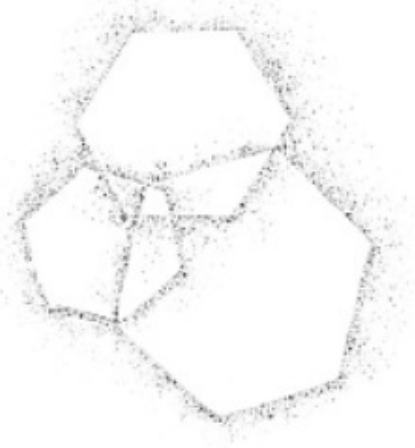
笑顔で
会おうね
—
—
—



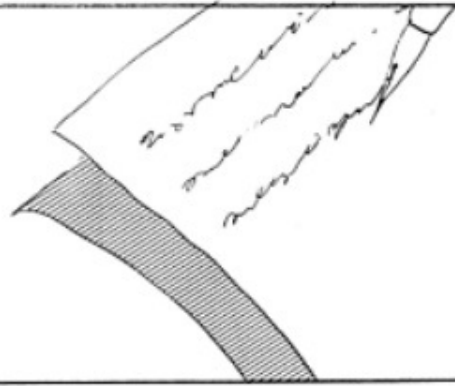
きっとまた会える
この時は



ありがとう



姫様



Legend★

今どこで 何をして

暮らしているのでしょうか...?

姫様のおそばに
いきたいのよすがが

今はこの不安定な国
のため何から始める
か悩んでいます

姫様の生まれ育った
大切な国ごまから

帰りたくなったら

いつでも帰ってきて
くださいよね...

— どうか...

どうか うんと

幸せでありますように

あのバレンタイン
婚約……

永遠には
次期王女など
つくまらぬわ

どうですかね……

カレン……
セロロネム

一体どう
なってるの
キキアキム

お前のまがさしや
誰にせうとやらはなめた
らんか……

永遠は

永遠ごしが
なか、たのですね！

ミヤミヤ

——ヒカリ!

ヒカリ

手合っつてんか!

はい

何ッの娘

新入りか?

いや、何でも

森の奥で倒れてた

とこ

髪が
拾われたって

たたた

どこから来たのか...

名を聞いても

反応がなくな

へえ...

記憶が

ないの...

どうもたこ
だま

たから
身だかかかまわ

なにこ傳こ

任せさせる

思っただよ

長が決めた

(9)

あれを見たとき
体中が光に
包まれていたとか



あの娘は...

底知れぬ闇を
知っている者だ

長...

名は

ヒカリだ

記憶を失わなければ
生きていけぬ様な

何かが
あったのだろうか



たか...

あの唄は

もう聞か

ずがることはないだろう

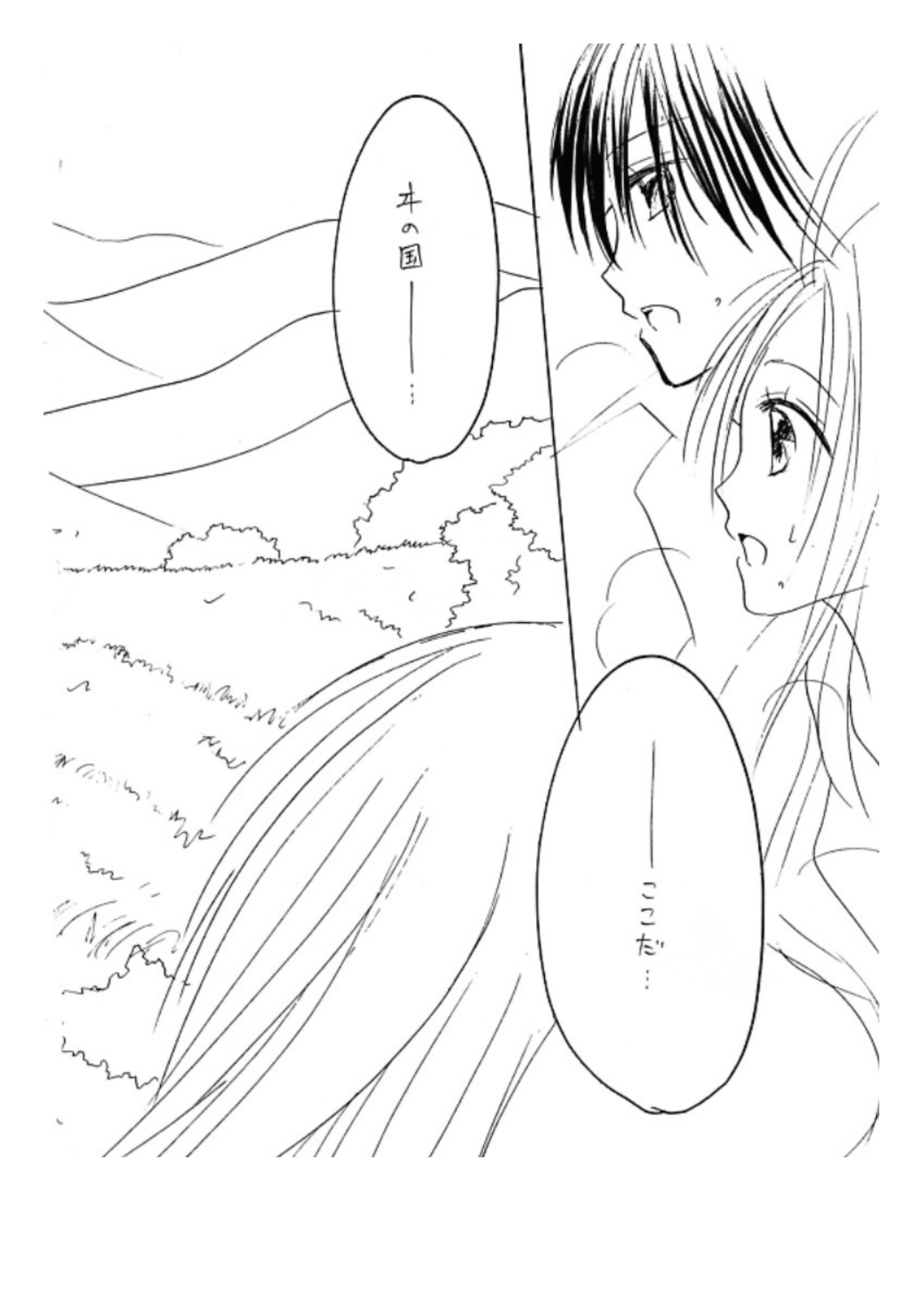


— そう…
邦岐は言った

「
本ノ国へ行く」

Legend★
— エピローグ —





本
の
国
—
…

—
こ
こ
だ
…



何も...
ない...

ね...

かつて...
—
...



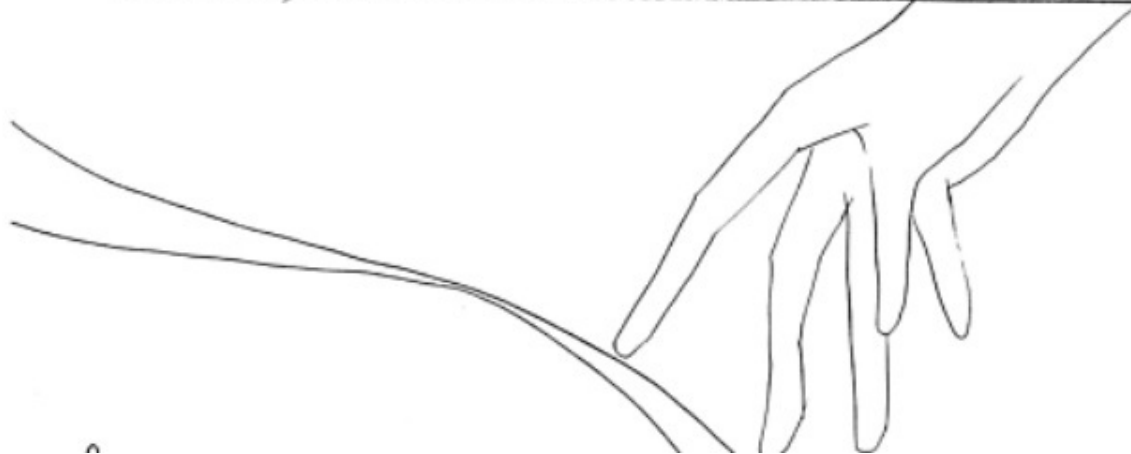
偉大な力を
手にした王国も

その力にやみ
滅びた...



那美と那岐が

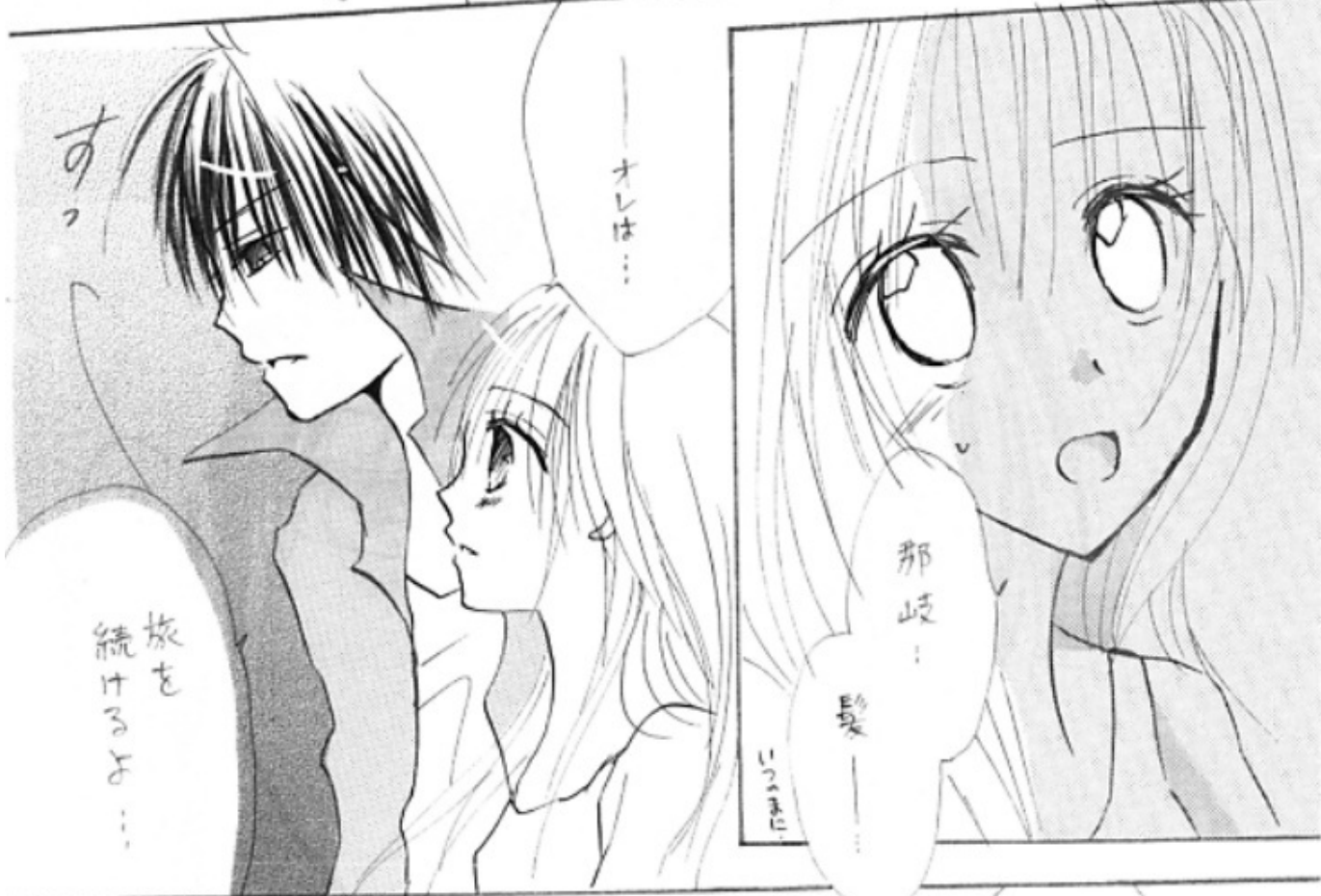
生まれ...
そして懐した国





Legend*

最終話



オレは...

すっ

旅を
続けるよ...

那岐！

髪...

ごめん



もう...

逃げたいの...

何かを
傷つける
ためじゃない...

... 15000 ...

大切なものを

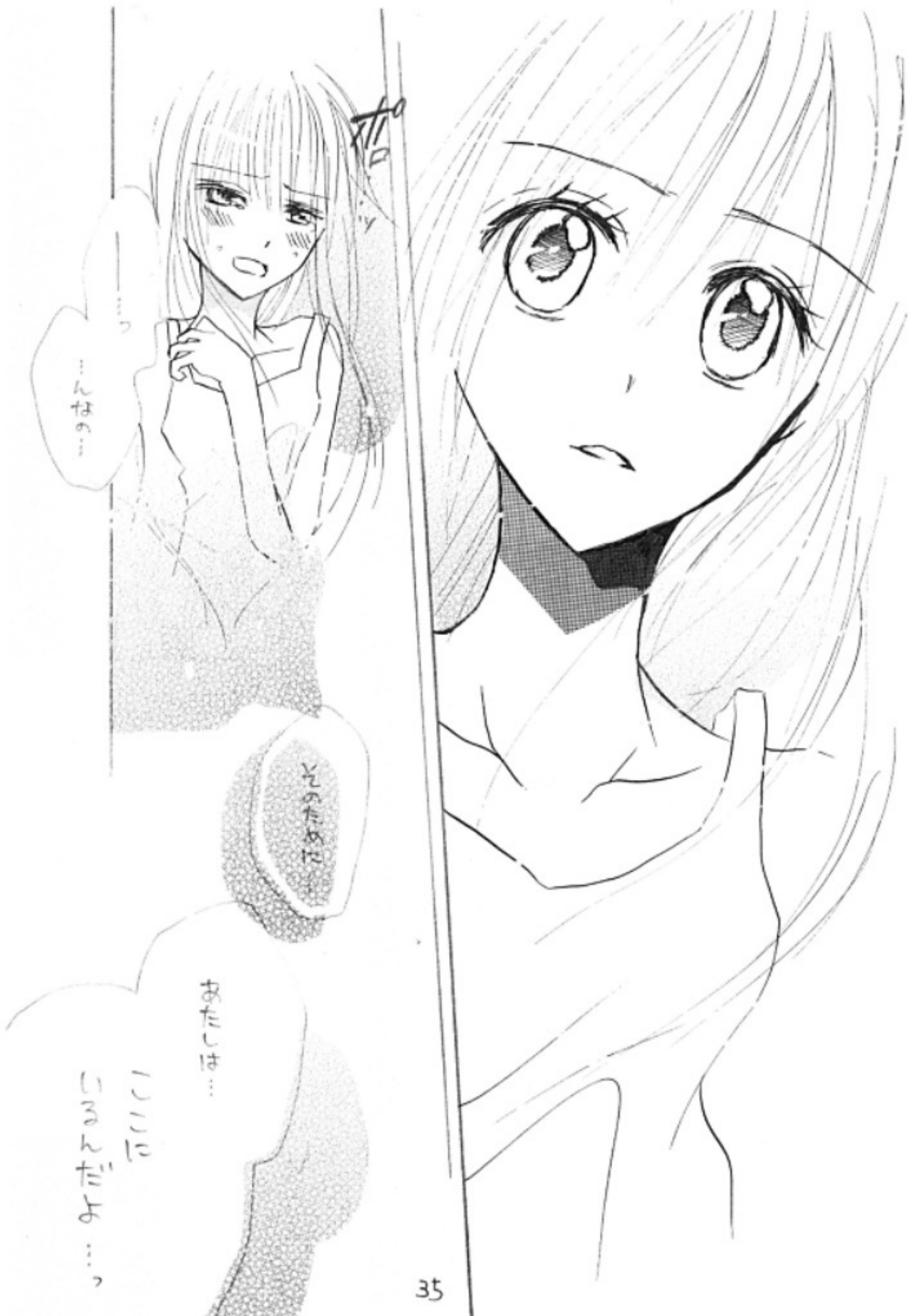
守れる

... 15000 ...

オレは

永遠と

生きたい





何度でも
立ち上がれる



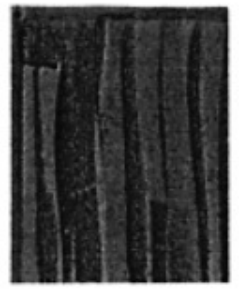
君がいれば

またか...



道を違えても

何かを
見失っても



限りある時間
大切にしよう

——君と
生きよう——

何度でも
生まれ変われるから



Legend

Legend (ラスト)

<http://p.booklog.jp/book/104826>

1話から公開しておりますので、よろしければご覧ください。

なんでここってこうなるの？
どうしてこうなった？

など、いろいろ疑問点の多い展開で申し訳ないです((+_+;))
スキャンするのが大変でしたが、これでラストです。

選外時代～デビューの間に書き上げた作品です。
1年に3,4回発行の会誌で5ページずつ描いていくので、
ストーリーを細々とたどりながら描いた感じです。

今もそのサークルさんは縮小しつつも存続しております。
(ご興味もたれた方はご連絡ください(^^♪)

著者：花鳥

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/meluru/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/104826>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/104826>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ